

樂山・峨眉山（樂山大仏と共に「峨眉山と樂山大仏」としてユネスコの世界遺産（複合遺産）に登録された。）

上海虹桥空港より成都空港へ

樂山

樂山市は四川省の西南部に位置しています。成都空港より樂山市街へ樂山市街より 15 分で凌雲寺（別名大仏寺）に着く。樂山大仏は世界遺産で、標高 500 メートルで、玄宗皇帝の時代、凌雲山の麓、岷江の水害を鎮めるために、西暦 713 年から 803 年で 90 年の歳月をかけて、断崖に彫られました。大仏は高さ 71 メートル、頭の高さ 14.7 メートル、耳の長さ 6.72 メートル、鼻の長さ 5.33 メートル、目の長さ 3.3 メートル、肩幅の 24 メートルの大仏です。世界で最も高い石刻大仏といわれる。この地を有名にしている樂山大仏は、岷江、青衣江、大渡という三つの大きな川が合流する凌雲山の上にあります。



成都空港



樂山への入口の公園



凌雲寺（別名大仏寺）入口



ゲート入ると直ぐに布袋さん



凌雲寺山門



標高 500 メートル頂上に有る凌雲寺



時を知らせる、雲版



山頂の凌雲寺の境内



岷江と大渡河、青衣江の合流地



拡大してください、狭い階段で大勢の人々、とっても危険です

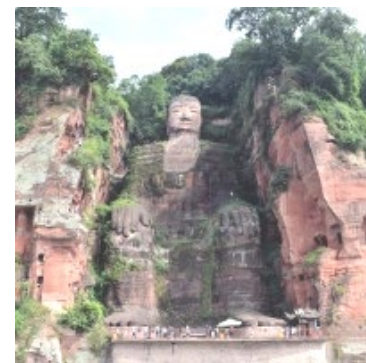
多長い石段の途中で



下から見た大仏



観光船で大仏見学



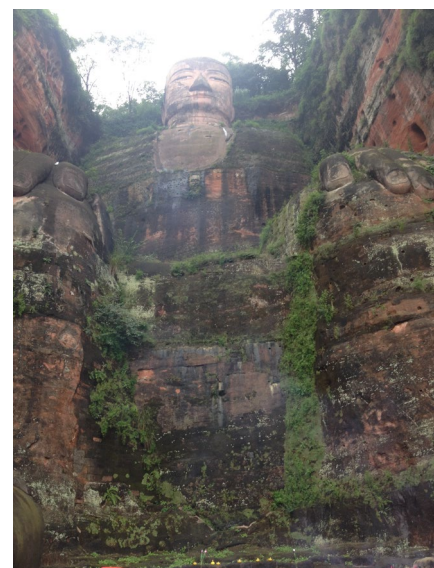
樂山の全体



狭い階段を 30 分かけて下ります。



上からの大仏。



下からの大仏。

峨眉山（普賢菩薩）峨眉山は中国仏教四大名山の一つ（五台山（文殊菩薩）・九華山（地藏菩薩）・普陀山（観音菩薩））中国仏教の四大名山の一つで26の寺院が建っている。報国寺・伏虎寺・清音閣・洪椿坪・九老洞・洗象池・雷洞坪・接引殿・金頂・清音閣・万年寺など・・・報国寺や万年寺が有名で万年寺には東晋時代の古刹で980年に鑄造された普賢菩薩が安置されている。

峨眉山は四川省成都市から南に約120kmに位置する、**標高3099m**、面積154k㎡の山。「二つの山が向かい合い、形は美しい眉のよう」というところから名前がついた。古来より「峨眉天下秀」といわれ、「地質博物館」とも称賛されている。5000種類以上の植物が生息し、そのうち高等植物は3200種類以上という「植物の王国」。また中国仏教四大名山の一つで26の寺が立っている。報国寺や、万年寺が有名で、万年寺には東晋時代の古刹で980年に鑄造された普賢菩薩像が安置されている。観光で行く場合は標高3077mの金頂が最も高い場所である。この日は天候も良く雲海の遠くにはミニヤコンカ（貢嘎山）標高**7556**メートルが遠くに見えました。なお、金頂へはバスやロープウェイを使い日帰りで行くことも出来ました。

峨眉山は中国仏教四大聖地の一つです。寺院の建立は漢代より始まり、各時代ごとに増改築が進み現在に至っています。明と清の時代には、大小百近くの寺院が建立され、普賢菩薩の道場として一躍有名になりました。最も有名な寺院は報国寺、伏虎寺、万年寺、及び山頂にある華蔵寺です。

峨眉山の自然資源その植物資源の豊富なことから、中国では「古きよき植物王国」として親しまれています。特異的な気候区分の為に、約3700種の植物が分布しています。国務院により国家一級の「重要保護野生植物」に指定されたハンカチノキ(中国語表記・珙桐 gongtong)は中国が原産です。ハンカチノキは最初に四川省で

発見され、その後貴州省、湖北省、雲南省でも発見されその分布は広いです。山の気候区分により標高 1250m から 2200m に生息するといわれています野生動物は 2300 種余りが生息しているといわれ、なんとジャイアントパンダもいます。の中では峨眉山の国家二級の保護動物である「チベットモンキー」(中国語表記・藏猕猴ツァン・ミ・ホウ)が有名です。

ちなみにチベットには生息していません。ニホンザルと同じ Macaca 属に分類されます。

観光客に餌をねだる姿がよく見られるものは、同属のベニガオザル(中国語表記・短尾猴トウアン・ウェイ・ホウ)ですが、猿達はかなり凶暴ですので、むやみに近づかないように注意してくださいとのことでした。

峨眉山の歴史を忍ばせる数々の伽藍や施設があります。例えば、「万年寺」は峨眉山の重要なお寺として、420 年に建立され、建物の構築には一本の梁もなく中国建築史において極めて珍しいとされています。いままで 18 回の地震に見舞われたにもかかわらず崩壊した形跡もなく、中国建築史上の奇跡とも呼ばれています。お寺内には宋の時代に造られた普賢菩薩が象に乗っている銅像が安置され、寺の貴重な宝とされています。「清音閣」は 877 年に恵通禅師により建てられたお寺で釈迦、普賢菩薩、文殊菩薩が祭られています。周囲には由緒のある「牛心石」や美しい溪流などがあり、唐の時代の薬王と称された孫思邈が丹薬を煉った場所として知られています。[

2 世紀にここに寺院が建立され、唐代までは道教が主であったが、その後仏教化し、16 世紀には仏教の聖地とされた。今日、さまざまな様式の寺院があるが、4 世紀建立の万年寺は省の重要文化財。また、ここにある高さ 9.1 メートル、重さ約 6.2 トン、17 世紀末の作とされる普賢菩薩(ふげんぼさつ)像は中国の重要文化財である。解放後、宿泊設備が設置され、多くの景勝地をもつこの山には毎年多数の人々が入山する。日の出、雲海、宝光 (ブロッケン現象)、神灯 (燐(りん)鉱石の光) はこの山の四大奇観である。この山は樂山市にある樂山大仏とともに 1996 年に世界遺産の複合遺産 (文化、自然の両方の価値がある遺産) として登録されている (世界複合遺産)。[小野菊雄]



中国仏教の四大名山の一つで 26 の寺院が建立の入り口



峨眉山入り口の寺々 布袋さんもいますし、四天王もいました。



四天王



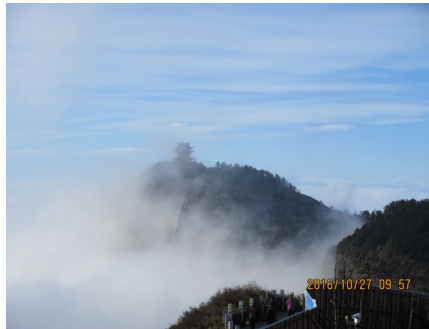
大きな山門



日本で云うカゴヤです



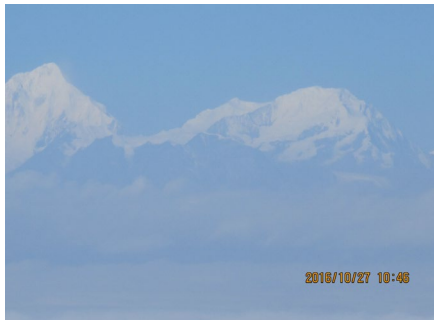
峨眉山の案内



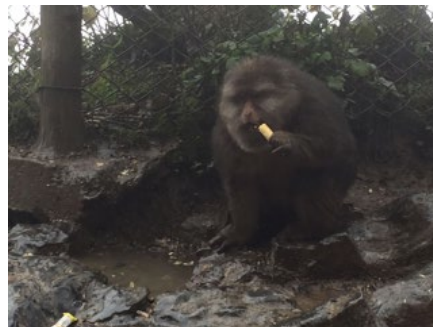
雲の上の万年寺



標高 3099m 普賢菩薩



ミニヤコンカ (貢嘎山) 標高 7556m



峨眉山の凶暴なベニガオザル

